令和5年度　学校だより
7月号
上郷
横浜市立上郷小学校
〒２４７－００２６　横浜市栄区犬山町６番１号　　電話　０４５－８９４－０７６１
http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamigo /

「算数」と「思いやり」

学校長　海津　善宜

梅雨の鬱陶しい日が続いていますが、校庭には紫陽花や野草園の花が咲き、田んぼの稲も緑が濃さを増し、美しく学校に彩りを添えています。新型コロナウイルス感染症の扱いが変わったことにともない、全学年で水泳学習が始まりました。子どもにとっても教師にとっても四年ぶりの水泳学習ということで、安全を第一に考え、事前に全教員で念入りに研修を行い授業に臨んでいます。プールから聞こえる楽しそうな子どもたちの声は、私を含め周囲を笑顔にしてくれています。

さて、ずいぶん前の CM で「思いやり算数」というものがありました。ご存じの方も多いと思いますが、次のような内容です。

「＋」は、たすけあう　　「－」は、ひきうける
「×」は、声をかける　　「÷」は、わけあう
それは、人を笑顔にする算数　思いやり算数。

一見、簡単なようで、実は難しい内容です。コロナ禍からようやく抜け出し、社会が急激に動き出し、子どもも大人も忙しさが増してきました。この CM は、私にとっていまだからこそ、あらためて考えなければならないことだと感じています。

「＋：たすけあう」が難しいのは、自分のことで精一杯だからでしょう。人が大変な時は自分も大変な時が多く、「助けてほしいのはこっちだよ」と言いたくなる時もあります。また、「それはあなたの仕事でしょ」という言葉を都合よく使って逃げたい時もあります。しかし、忙しい中にも何かできることがあるはずです。無理せず小さなことから「たすけあう」を始めたいと思います。「－：ひきうける」が難しいのは、それが面倒な仕事であればあるほど「なんで自分が？」という気持ちが沸き上がってくるからかもしれません。しかし、その仕事は自分にしかできない仕事かもしれません。面倒に感じるその仕事の中に、新たな発見や出会いがあるかもしれません。そう信じて自分にできることは「ひきうけたい」と思います。「×：声をかける」が難しいのは、どう声をかけてよいかわからなかったり、声をかけることで逆に自分自身が傷ついてしまうことをおそれたりするからなのではないでしょうか。しかし、大切なことは「その人のために何かできることはないか」という気持ちだと思います。たとえ自分が傷ついたとしても「声をかけたい」と思います。「÷：わけあう」が難しいのは、心のどこかに「独り占めしたい」「自分がほめられたい」という気持ちがあるからかもしれません。しかし、自分がどんな人間になりたいかを考えた時、たとえ一人分の量は減ったとしても、私は誰かと喜び合える方が幸せだと思っています。これからも分かち合う喜びを感じながら「わけあいたい」と思います。まずは、自分自身が、そして上郷小学校のみんなが思いやり算数を少しずつ実践して、学校も家庭も地域も笑顔に包まれればいいなと思っています。